



いつついし自治会報 509号
2021年(令和3年)4月号

南砺市福光成人式開催



当初、1月10日(日)成人式を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため3月14日(日)に延期になり、午前10時から福光中央会館5階ホールにおいて開催されました。今年の成人式は、密を避けるため来賓は最小限で会場には父兄も入ることができませんでした。成人者は受け付け前に検温・消毒しマスク着用で会場入りし、指定された席に着

きました。

第1部の式典には田中幹夫市長が出席され式辞を述べられました。第2部の『はたちのつどい』では、恒例の福光中学校時代の思い出のスライドショーがあり、成人された皆さんは懐かしそうにしていました。その後、記念撮影が行われました。



福光地区 成人代表



川端崇弘さん
(川原町)



林ひかりさん
(本町)



第11回町内会長会

いつつし自治会
2月町内会長会

2月24日(水)、いつつし自治会第11回町内会長会を福光交流センターで開催しました。

1. 水口市議から次のような話がありました。

- ・3月議会に福光関連の次にあげる予算を計上します。

福光公園の枯れた松の撤去費

消雪装置工事費(天神町の小矢部川沿いと東新町の部分)

棟方志功の旧宅で、老朽化した「鯉雨画齋」の修復費

- ・ペイペイのポイントの付与が行われます。

2. 蟹野会長から次のような話がありました。

- ・大型ポンプ車が老朽化により、来年度更新されることになりました。

3. 町内会長から、次のような報告がありました。

- ・荒町町内会がコミュニティ助成事業を申請して認可され、助成金220万円の補助がありました。町内会で公民館の改修や情報機器の購入など有効活用を図っていきます。

4. 総務部から連絡事項がありました。

- ・御神輿巡行が新型コロナウイルスの影響によって2年連続で中止となりました。今後、25歳の若年者の減少などで厄年の者だけで御神輿を担ぐことは困難となります。伝統ある御神輿巡行の維持について、われわれ福光住民(氏子)としても考えていかなければなりません。
- ・昨年10月に実施した住民アンケートの報告書を3月下旬に各戸に配布します。

御神輿巡行、今年も中止



令和3年御神輿巡幸は、昨年より準備を進めておりましたが、残念ながら中止となりました。2月17日(水)に正式に中止の案内を受け取りました。

令和2年10月に事務所開きを行い、コロナ禍の中で感染防止対策を心がけながら準備を進めてきたのですが、コロナウィルスに打ち勝つ事ができませ

ませんでした。私達厄年一同も困惑し、やるせない気持ちでいっぱいであります。

今後の活動としては、来年に向けて次の厄年の方々に伝えていける事を全て伝承していく所存です。最後になりますが、ご協力して頂いた関係者の方々には、心より御礼を申し上げます。



伝九郎火地藏尊の いわれ

伝九郎火地藏



今から三百年程前のことです。この付近を通っていた人が盗賊に襲われて殺されてしまいました。盗賊は地藏堂の地藏さんを外に放り出し、その屍骸を地藏堂の中へ入れたのです。その時にとれたという地藏さんの首が今もそのまま、胴体の上ののっています。その後、伝九郎という盗賊が通行人を切捨て、その屍骸をそこに放置しました。それ以来、その魂が火の玉となって、付近を飛ぶようになったのです。人々は困り果て、地藏さんをお堂の中に入れ、丁寧に安置して、花や線香を供えお経をあげて祈禱したところ、火の玉も出なくなりました。地域の人はこの地藏さんを「伝九郎火の地藏尊」といって崇拝しています。

平成二十三年十一月

公民館子どもふるさと自然体験事業
福光地域公民館連合会

晴天の下「火伏訓練」実施



2月22日(月)午前9時30分より、東町・川原町・味噌屋町・新町の広範囲にわたり恒例の火伏訓練が行われました。毎年震えるほど寒い中で行われますが、今年は例年になく好天で暖かい日でした。味噌屋町地内のJA福光地区センターからの火災発生を想定し、JA職員と味噌屋町住民が火点の炎に向けて水消火器で初期消火訓練を行いました。その後、東町のことぶき会館に飛び火したことを想定し、消防団による放水訓練、延焼を防ぐための水幕放水訓練などに取り組みました。

訓練終了後、福光福祉会館前にて閲団が行われ、福光宇佐八幡宮において火伏祈願神事が行われました。その後、福光交流センターにおいて式典が行われ、いつついし自治会より福光分団へ今回の訓練にも使用された水幕ホース一式2組と消火栓ハンドル3本の目録が贈呈されました。

まだまだストーブなどの暖房器具が使われると思いますので、火災を起こさないためにも火の元には十分注意していただくようお願いします。



初期消火



中継送水



閲団



放水訓練



水幕放水



いつついし自治会より目録寄贈



火伏祈願

三月詠草

(福光短歌会)

せせらぎで蟹を追ひし日の遙けしも 其の想ひ出を今は宝に
 何とかなる今もこれからも二人居れば寒空が答ふ命あらばこそと
 マスク付け会釈せし人 誰か分ならず分からはなまに会釈返しをり
 雪止みて まばゆき朝の青空を背景に映ゆる小さき白梅
 大雪後に春一番が吹き荒れて昨年よりは四日は遅い
 浮き浮きと新しき服 右・左 鏡に映すも顔は神妙

(福光俳句会)

岩を嘯む激流もまた春の川
 木屑吹く若き彫師の息白し
 うつし絵の父母に寒むざむ並ぶ妻
 空仰ぎ春待つ朝に雲険し
 文字跡も古りし扁額紀元節
 岩礁に砕けて白し雪解川
 いつの間にはピンクの産毛猫柳
 かまぐらの中は青色神秘的
 全身の春雪払ひ入る駅舎
 蕪鮎用麴ありますと貼る板戸
 コロナ禍にあなごるなれ春の風邪
 朝日受け七色光る雪の原
 冬雷や一瞬地平を撮したり

山崎 芳子
 齋藤 よしえ
 竹本 幸子
 桃野 瑞恵
 宮岸 昇
 福光和歌子
 駒形 隼男
 宇野 恭子
 梅島 くにを
 大浦 昌美
 尾崎 いつ子
 澤田 敦子
 利川 輝
 直井 真
 中山 朝
 名村 五月
 堀 喜就
 安田 富子
 山下 喜就

福光地区 4月行事のお知らせ

- 4/5(月) どんぐり保育園入園式
- 4/6(火) 福光中部小学校・福光中学校入学式
- 4/15(木) 福光宇佐八幡宮 春季例大祭
- 4/18(日) 宇佐八幡宮神輿巡行 中止
- 4/16(金) 福寿大学 午後2時より

検地祭の由来(再検地訴願騒動) — 旧福光町史上巻より —

明歴2年(1656)、加賀藩の御算用場から福光村の一ヶ村草高が1832石と決められた。その石高は農民たちにとって、納得のできない過重な割当であって、藩の改作奉行所が検地を誤ったものとしか考えられなかった。

そこでもう一度検地をやり直して、石高^{こくだか}を改めてもらいたいと、まず十村に改作奉行所へ歎願してもらおうように陳情した。しかし十村の方では、上司への関係もあってか取り次ぎをしてくれなかった。

その後15年間経過した寛文10年(1670)に、村御印が改められたので、新しい検地が行なわれて、草高が直されると思っていたところ、意外にも明歴2年のままであった。農民たちは非常に失望した。いつまでもこの通り黙認すれば、自分たちの生存権が奪われることになると考えた。

そこでさらに十村役人に迫って頼んだが、埒^{らち}があきそうにもなかった。そこで最後の手段として、このうちは加賀の藩主にじかに歎願するより仕方がないということになった。しかし直訴は藩の禁制である。それを犯せば大罪となり、磔^{はりつけ}か刎首^{はねくび}に処せられること必至であった。それでもやむを得まい。

真実を訴えようということになり、6人の農民代表は悲壮な覚悟で、尾山(金沢城下)へ向けて出発したのであった。

尾山につくと、とりあえず改作奉行所を尋ねて、割当草高の不当を訴え、再検地を歎願した。しかし改作奉行所は、検地が自分たちの責任部門であるため、もしもその誤測が知れると大へんなことになると思ったのか、一向に受け付けてくれなかった。それのみならず、福光の農民は十村と口論して、その命に従わないとか、あるいは藩蔵を襲って、勝手に米を配分して不都合だとか、言いがかりをつけて、公事場回しにしてしまった。

その結果は、福光村の正しい主張を容れることな

く、かえって強訴の罪名で処刑するとの判決を下した。6人の代表者は、福光村へ差し戻されて、福光橋詰の船繋場のそばの松並木の下で刎首されて犠牲となった。その時、尾山に通ずる二俣往来の坂本峠の方から、藩の使者が早馬で駆けつけてきた。これは公事場と算用場の上役が、慎重に吟味して協議したところ、検地に手ぬかりがあることがわかり、福光村の農民の言い分を許すことになったので、助命の報せを届けにきたのであった。しかし、時すでに遅く、6人の者が処刑された直後に到着したのは、まことに痛恨の至りであった。

その後、藩の改作奉行が更迭されて、再検地が行われた。そして悲願がかなって、草高319石が差し引かれて1513石となり、農民たちに明るい日がおとずれた。天保10年(1839)の『砺波郡高物成帳』に、正徳3年(1713)御検地引高として明記されている。

こうして尊い犠牲者が六地藏として祭られたのであった。なお処刑が行われた日の2月15日を、福光村では、「検地まつり」といって、毎年お寺で法要を行ってきた。明治以降は西町の西岸寺で長らく営まれていたが、太平洋戦争中にいつの間にか中止されて、いまはそのむかしを知る人も少なくなった。

また村落の方でも、2月から3月へかけて「検地まつり」を営むところがある。これは福光村の犠牲者のお陰で、再検地を願い出て、貞亭・元禄・正徳のころに検地引高を受けたから、やはり英霊の冥福を祈るものかとも考えられる。



2月15日(月)西岸寺で先人を供養

2021年度 サークル案内訂正の お知らせ

2月末に広報と一緒に全戸配布した2021年度サークル案内に一部誤りがありました。

書道クラブ・コスモスの会の会費が間違っていましたのでお詫びいたします。

年2,000円(誤) ⇨ 月2,000円(正)